

令和6年度 アレルギー疾患医療連絡協議会 議事要旨

日時 令和7年3月19日(水)
 18時から19時30分まで
 場所 秋田県庁本庁舎7階73会議室
 (オンラインとのハイブリット開催)

事務局	1 開会
政策監	2 あいさつ
事務局	委員改選に伴い会長及び副会長を選出 会長：中山 勝敏 委員 副会長：山田 武千代 委員
(以下、中山会長が議長となり議事進行)	
千葉委員	3 議事 (1) 協議1 各施設における「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の浸透具合について 毎年300人程の生活管理表を書いているが、どのような状況になったらエピペンを使えばいいのかという質問がとても多い。秋田県には食物アレルギー対応マニュアルがあり、これを見ることで基本的なことは分かるようになっている。コロナ前までは、このマニュアルを使用した講演会等を行い、各施設に浸透していたと思う。しかし、コロナ後になって、基本的な質問が多くなり、このマニュアルが各園や各学校に浸透しているか疑問に思っている。
議長	各施設には毎年新しい子どもたちが入ってくるので、情報を更新していく必要がある。本日は浸透度の確認、対応の協議の順番で進めたいと思う。
千葉委員	幼稚園や保育園、学校などで管轄が違うと思うので、どこが中心になるのかわからない。 コロナ前は、園の代表の先生が、エピペンを実際にさわる機会や集中講義を受ける機会もあったが、コロナ禍以降は、そのようなことをやっている様子がない。また、講演で勉強した人も、園の方針で対策が取れないという話しも聞いており、環境を変えるには、トップダウンで行わないと難しいと思う。
早川委員	年に1回植木委員が行っているアレルギーの講演会や学校医が学校に行く機会を使うなど、そのようなことを系統的に作っていくことが重要だと思う。

議長	<p>既にあるシステムを周知して、どのくらい参加者がいるかを把握する必要がある。</p> <p>必要な幼稚園や保育園などをリストアップして、そこに周知して参加してもらう、またはオンデマンドで視聴してもらう取り組みも必要だと思う。現状把握は必要だが、それに時間がかかってしまうと駄目なので、集約的なもので、かつてやっていたスキームで今、欠けているものはないかどうかは県で調べればわかると思う。</p>
小松委員	<p>薬局でも春になると、食物アレルギーの方が多く、エピペンが処方されます。</p> <p>薬局では、保護者の方には使えるように指導する機会がたくさんあり、また、こども園は薬剤師が対応できますが、保育園は薬剤師が入る機会がありません。御所野小学校だと学校の先生からの要望で、出向く薬剤師がいると聞いています。そのような機会がないと、先生方に薬剤師からお話をする機会がないのが現状です。</p>
事務局	<p>本日、教育庁は欠席ですが、事前に情報をいただいたので共有させていただきます。</p> <p>食物アレルギー緊急時対応マニュアルの中では、秋田県教育委員会が主催する研修会について記載されており、今年度は県内3地区で行い、年300人ほどの出席があります。コロナ禍の実施状況や今後の予定を教育庁に確認したいと思います。</p>
議長	<p>問い合わせは園と保護者のどちらからですか。</p>
千葉委員	<p>園が保護者を介して問い合わせします。</p> <p>保護者としてはエピペンを置いて欲しいと思っていますが、どうしたらいいかわからないと相談されます。</p>
議長	<p>アレルギー診療の均てん化として、エピペンをテーマとして掲げ、エピペンの使い方を、リスクのある子どもや保護者、幼稚園、保育園に周知する取り組みを来年度行いたいです。</p> <p>また、この協議会は年度末1回行っているが、前半の時期にメール審議のような形で委員の皆様へ情報や進捗の共有を行いたいと思っています。</p>
山田(武)委員	<p>トップダウンでないといけないと思う。協議会のまとめた意見を園長に通達することや、直接の指導が難しい場合は、オンデマンド動画を作成することも必要だと思う。</p>
議長	<p>ぜひとも通達をお願いします。</p>
事務局	<p>県では、幼稚園・保育園、小学校・中学校で管轄が異なりますが、教育庁からも事務局に参加しているので、そこを通じて情報共有を図っていきたい。</p>
議長	<p>管轄が異なっても命は一つなので、ぜひお願いします。</p>
山田(武)委員	<p>中山先生中心に明文化して動いていただきたいと思います。</p>

議長	明文化して、教育と連携して動いていきたいと思います。
事務局	(2) 報告 秋田県におけるアレルギー疾患対策について
議長	アレルギー対応食の備蓄周知について、周知無しが令和5年度より令和6年度が増えているのはなぜですか。
事務局	周知の有無について、市町村の内訳は令和5年度と令和6年度では変わっております。総合防災課でも市町村にお願いしているそうですが、令和6年度は周知している市町村が2カ所減っております。
議長	周知していない市町村が多いのが問題だと思います。 市町村に依頼するなど周知することを呼びかけてほしいと思います。 また、この調査は来年以降も実施してほしいと思います。 相模原病院との研修会では、教育庁と連携し、学校の先生などにも周知することが大事だと感じました。相模原病院とは、いつでも協力していただける関係にあるので、研修会について考えていきたいと思っています。
山田(武)委員	市民公開講座で、胃腸炎のメカニズムについて質問があったそうですが、患者さんからの質問でしょうか。
植木委員	患者さんからの質問です。
山田(武)委員	ご本人やご家族でその症状があるということでしょうか。
植木委員	そうだと思います。
議長	非常に良いイベントだと思うので、色々な方に知っていただきたいと思いますが、周知が課題だと思います。 例えば、地域のオーガナイザーがその地域にアナウンスするなど、もっと盛り上げていきたいと思っています。
植木委員	市の広報や患者団体の SNS への投稿、毎日新聞への掲載などで周知しました。
事務局	県でも、若い方が対象者ということでしたので、県公式 SNS や関係課、教育庁、新聞社への掲載などで周知を行いました。
政策監	県にも子育て世代向けの SNS など様々な SNS があるので、アレルギーに困っている方がみるような SNS を検討しながら周知していきたいと思っています。

植木委員	<p>オンサイトだと参加人数は増えると思うが、秋田市で開催することになると、他の地域からはなかなか参加できない方も多いと思いますので、生産年齢の方などスマホを自由に使える世代に届けたいと思っています。</p>
議長	<p>幅広い世代から参加者を募り、教育庁経由で周知を実施するのがいいと思います。</p>
事務局	<p>協議2 ① 県南からの委員の候補者について</p>
議長	<p>私も開業しているOBの先生に当たらせていただきましたが、忙しいため、難しいというお返事でした。</p>
武田委員	<p>小児科医であれば県医師会から推薦することができますが、アレルギーの専門家は中央にしかいないのが現状であり、この協議会は小児科医が多いので、別の分野がいいと思います。</p>
議長	<p>植木委員に伺いたいですが、市民公開講座で講師を務めた肥塚先生は如何でしょうか。</p>
植木委員	<p>肥塚先生は小児のアレルギーを含めた消化管疾患が専門の先生になります。どのような業務内容でしょうか。</p>
議長	<p>県南の状況をこの協議会に共有していただくことや、反対に情報を流していただくことを想定しています。また、講演会を行う際の中心的な役割を担っていただきたいと思っています。 肥塚先生は、県南の病院に常駐しているのでしょうか。</p>
植木委員	<p>基本的には、大学病院におりますが、定期的に市立角館病院に指導を行いに行っています。</p>
議長	<p>県南の医師とネットワークを構築し、それを活かしていくお立場ということでよろしいでしょうか。</p>
植木委員	<p>総合診療医としての仕事の範疇だと思います。</p>
山田(武)委員	<p>委員になっていただくとすごく良いと思います。</p>
議長	<p>事務局と植木委員で情報交換していただき、肥塚先生に打診していただきたいです。</p>

	②令和7年度アレルギー疾患医療提供体制整備事業について
議長	県南や県北、中央の地理的なオーガナイズとともに、課題や進捗状況、イベント等の時間的なオーガナイズが必要だと思います。年度中頃に県からメールで報告していただき、委員で審議していきたい。
早川委員	市民公開講座では、県医師会に協力していただき、診療所の待合室などにポスターを貼ってもらうと保護者の方がアクセスしやすいと思います。 エピペンの使い方では、保健の先生の会議などで周知していただくといいと思います。
議長	診療所から市民公開講座を周知していただくと良いと思う。 市民公開講座の日程はいつ頃に決まりますか。
植木委員	12月頃です。
議長	早めに決めていただければ、周知が進むと思うので、ご検討をお願いします。
植木委員	医師会との協力も検討していきたい。
山田(武)委員	今年、私がアレルギー学会の支部長になっており、秋田で11月30日にアレルギー大会があるので、そこで市民公開講座についても触れられたらと思います。 また、私たちも昔、他の地方で電話相談会を実施しましたが、花粉症の時期である3月に実施することが多かったです。その時も、5件から10件の相談でしたので、地方だとそのくらいの数になるのだと思います。周知するときに、アレルギーに関する相談と明文化すると良いと思います。 また、小児科の先生にお聞きしますが、県内で食物負荷試験ができる施設を情報共有することは可能でしょうか。
武田委員	中央だけになってしまいましたが、千葉先生のところや中通総合病院、市立秋田総合病院で行っています。最近はわかりませんが、日本赤十字病院でも行っていたと思います。
河野委員	県内だと魁新聞を読んでいる方が多いと思いますので、県の広報と一緒に載せてもらうのがいいと思います。テレビなども含めて県や県医師会の周知と一緒に掲載することは可能でしょうか。
事務局	県ではテレビ広報の枠をもっていますが、早い段階でエントリーする必要があります。
植木委員	イベントのどのくらい前にエントリーする必要がありますか。

事務局	<p>2から3ヶ月前になります。時期を見て担当からご案内します。</p> <p>エントリーしても必ず掲載されるわけではありませんので、ご理解ください。</p>
議長	<p>市民公開講座やエピペンの講演会について、広報に掲載していただきたい。</p>
植木委員	<p>県の研修会の予算を増やしていただきたいと思っています。</p>
武田委員	<p>エピペンの講習会については、各地域で継続して行っていただくことも大事ですが、各学校で行っている学校医の講習会について、実施の回数に偏りがあるので、教育庁が枠組みをはっきりさせる必要があると思います。</p> <p>また、保育園や幼稚園は嘱託医任せになっているので、県や市の小児科医会を介して、講習会を行える方向性にしたほうがいいと思います。</p> <p>また、今年実施した相模原病院との講演会では、学校からの案内が0件になっているので、色々な方面から周知したほうがいいと思います。</p>
議長	<p>多くの委員が周知について指摘しているので、ぜひ改善してほしい。</p>
小松委員	<p>薬剤師会も薬局へのポスターの掲示について協力できると思います。</p> <p>また、エピペンについても、協力できることがあると思います。エピペンは、使用期間が非常に短く、毎年処方してもらう必要があり、学校に2、3本持って行く方もいるので、万一の時にきちんと使ってもらえるようにお話をしていきたいです。</p>
成田委員	<p>市民公開講座のチラシが素晴らしいと思いました。3月は花粉症の時期なので、アレルギーについて、市民の関心が高まっていると思います。看護協会にもホームページがありますので、そこで周知することもできると思います。</p>
植木委員	<p>来年度は幅広い方を対象とした企画を検討していきたいです。</p>
佐々木委員	<p>広報について、子育て世帯は、新聞をあまり取っておらず、学校からのお知らせはメールで来ているので、データを各学校に送るのがいいと思います。</p>
越智委員	<p>エピペンは、誰でも使えるようにしないと、助けられる命が助けられないので、強力で推し進める必要があると思います。</p> <p>講習会については、eラーニングのような形をつくると効率的だと思います。</p> <p>また、広報については、新聞は、高齢の方が見ていると思いますが、恐らく、字が小さいため、気がついていないと思います。一番効率が良いのは、病院経由で患者さんにチラシを配ることだと思います。当院では、休日に、院内の講堂で講演会をおこなっているため、入院患者さんや職員がWEB講演会に参加できると思います。</p>
植木委員	<p>以前、動画を作っているため、活用してほしい。</p>

議長	動画やマニュアルをぜひ活用していただきたい。
議長	<p>4 その他</p> <p>その他、今年度の事業に限らず、ニーズや提案したい事業等の意見はありますか。特にないとのことですので、本日予定していた議事は全て終了したため、協議を終わります。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>5 閉会</p> <p>本日は長時間御参加いただきありがとうございました。これで、令和6年度アレルギー疾患医療連絡協議会を閉会とします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>